

令和元年度事業報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

【1】概況

本年度は、千葉市内の都心エリア及びブルー・グリーンエリアの地域資源を活用した魅力づくりとターゲットに訴求する情報発信、来訪者の満足度を高める観光サービスを継続的に提供していくため、協会会員をはじめ地元企業・団体ならびに千葉市と連携し観光プロモーション事業の推進を図った。

特に観光資源開発については、千葉市ならではの風土の特長を活かし民間事業者が主体となり多様な観点から持続的な集客と観光消費の拡大に向け活動していくため「千葉市の観光を考える委員会」を設置し、これまでの取り組みの総括と未来予測を踏まえ、ステークホルダーを巻き込んだ現場力のある新たな観光都市マネジメントの実現に向け千葉市観光交流ビジョンを策定した。さらに、千葉市の特性と房総の魅力を活かした「美食のまち千葉」を目指して、市内の飲食店が独自の個性とアイデアを凝らして生み出した千葉市でなければ食べられない郷土料理の創作プロジェクト「千葉さんが」を10月から開始した。

情報発信については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、千葉市に訪れる来訪者や市内に住む人・働く人に、豊かな自然環境に恵まれた地域資源の魅力が感じられる体験等を提供することにより観光需要の喚起を図っていくため「千葉とおき2020」を10万部発行すると共に、観光スポットの位置や目的地までのアクセスが分かる観光ガイドマップを6.5万部発行した。さらに、千葉市観光ガイドWEBサイトは、これまでの5か国対応からサイトを開くだけで世界100以上の言語対応で閲覧できるよう機能向上を図った。

観光広報及び観光客誘致については、観光PR大使を選定し、SNSをはじめイベント会場等で海辺エリアのプロモーションを展開した。さらに、第90回都市対抗野球大会の千葉市代表としてJFE東日本が初優勝を飾るなか、当協会は郷土芸能の披露をはじめ観光PR大使と共に応援を行った。

受入体制の整備については、国内外からの来訪者に街の文化・景観やお勧めスポットなどを紹介する観光ボランティアガイドを育成し、まち歩き観光ガイドツアー等を実施した。

観光情報センター運営については、来訪者の受入拡充と機能充実を図るため、Wi-Fi環境の整備をはじめ多言語案内用タブレット端末を設置した。

管理業務については、官民連携のネットワークによる魅力発信と受入環境の充実により持続的な集客と観光消費を拡大していくため、多様な関係者と新たな関係構築を図り、会員組織の拡充と自主財源の確保に努めた。

【2】会 議 等

1. 総 会

第8回定時総会

- 日 時 令和元年6月12日(水) 15時40分～16時45分
場 所 三井ガーデンホテル千葉 3階 平安南の間
会員数 735名 出席会員 422名(内委任状 303名)
議 題 (1)報告事項
①平成30年度事業報告について
②令和元年度事業計画及び収支予算について
(2)決議事項
第1号議案 平成30年度決算書類等の承認について
第2号議案 理事の一部改選について

2. 理事会等

(1)第1回理事会

- 令和元年5月28日(火) 10時～11時50分
千葉中央ツインビル2号館12階 千葉商工会議所研修室
①議事録署名人
②議 題 第1号議案 平成30年度事業報告及び決算について
第2号議案 理事の一部改選案について
第3号議案 相談役の委嘱について
第4号議案 専門委員の一部改選について
第5号議案 千葉市の観光を考える委員会の進め方について
第6号議案 会員増強に向けた施策について
第7号議案 新入会員の承認及び退会会員の報告について
第8号議案 職務執行状況の報告について

(2)臨時理事会

- 令和元年6月12日(水) 16時45分～16時50分
三井ガーデンホテル千葉 3階 平安東の間
①議事録署名人
②議 題 第1号議案 業務執行理事の選定について
第2号議案 相談役の委嘱について

(3)第2回理事会

- 令和元年12月19日(木) 10時～11時50分
千葉中央ツインビル2号館5階 セミナー室
①議事録署名人

- ②議 題 第1号議案 新たな観光都市マネジメントの実現に向けて
 第2号議案 相談役の委嘱について
 第3号議案 専門委員の一部改選について
 第4号議案 就業規程の一部改定について
 第5号議案 千葉とっておき2020の製作について
 第6号議案 美食のまち千葉・郷土料理創作プロジェクトについて
 第7号議案 幕張ビーチ花火フェスタ2020の開催について
 第8号議案 新入会員の承認及び退会会員の報告について
 第9号議案 職務執行状況の報告について

(4)第3回理事会

令和2年3月27日(金) ※書面表決

- ①議 題 第1号議案 令和元年度補正予算について
 第2号議案 令和2年度事業計画及び予算について
 第3号議案 理事の選任方法について
 第4号議案 専門員会規程の一部改定について
 第5号議案 専門委員の委嘱について
 第6号議案 給与規程の一部改定について
 第7号議案 臨時職員就業規程の一部改定について
 第8号議案 第9回定時総会の開催について
 第9号議案 新入会員の承認及び退会会員の報告について

(4)その他の会議

三役会議	5月28日	9月28日	12月19日	
総務企画委員会	5月21日	12月13日	3月25日	
観光推進委員会	12月9日	3月23日		
千葉市の観光を考える委員会	6月19日	7月23日	8月28日	9月5日
	9月26日	10月3日	11月1日	11月15日
	11月27日	12月5日		
事務局会議	4月4日	5月8日	6月5日	7月3日
	8月9日	9月10日	10月9日	11月6日
	12月6日	1月9日	2月5日	3月5日
事業監査	5月15日			

3. 関係会議

千葉市中心市街地まちづくり協議会	4月18日	4月21日	6月3日
	6月20日	12月19日	
市町村観光担当課長・観光協会事務局長会議	4月18日		

千葉市民産業まつり実行委員会	4月19日	6月28日	10月25日
	12月20日		
千葉ジャズ協会	4月21日		
千葉市民花火大会実行委員会	4月24日	6月11日	7月8日
	7月10日	7月15日	7月22日
	7月23日	7月24日	9月11日
	10月3日	10月29日	11月18日
	12月23日	12月26日	1月15日
	1月30日	2月26日	2月27日
ちばプロモーション協議会	4月24日		
2020文化プログラム実行委員会	4月25日		
海浜幕張駅周辺帰宅困難者等対策協議会	4月25日		
千葉港まつり実行委員会	5月10日	6月21日	12月12日
千葉都心イルミネーション実行委員会	5月14日	7月3日	8月21日
	11月19日		
幕張新都心イルミネーション実行委員会	5月16日	8月30日	
千葉市を美しくする会	5月22日	9月20日	
千葉地区夏期観光安全対策本部会議	5月27日		
千葉ベイエリア観光連盟	5月30日	6月21日	10月24日
	1月17日		
日本観光振興協会	6月7日		
稲毛浅間神社例祭関係会議	6月19日		
千葉県観光物産協会	6月26日	10月11日	
千葉神社支部長会	6月29日		
第90回都市対抗野球大会 JFE 東日本公式野球部出場壮行会	7月3日		
大都市観光協会連絡協議会	7月4日	11月7日	11月8日
千葉氏サミット実行委員会	7月9日		
関東甲信越都道府県会議	7月11日		
千葉市外郭団体等連絡協議会	7月25日		
千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会	7月29日		
千葉市みなと活性化協議会	8月7日	8月21日	11月7日
第90回都市対抗野球大会 JFE 東日本公式野球部優勝祝賀会	8月21日		
いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会	8月27日	2月27日	
ちばの祭りと食の饗宴実行委員会	8月29日		
郵政事業千葉懇話会	8月30日		
ベイサイドジャズ千葉実行委員会	9月3日	12月10日	

幕張新都心まちづくり協議会	9月18日	9月19日	1月15日
	1月16日	2月19日	2月20日
千葉青年会議所 創立六十周年記念式典	9月21日		
千葉市海外インバウンドツーリズム推進協議会	10月17日		
チーム千葉ボランティアネットワーク実行委員会	11月 8日		
幕張メッセ開業30周年記念式典	11月 8日		
地域社会貢献者・寄附行為者感謝状贈呈式	11月15日		
千葉市市政100周年記念協議会	11月19日		
房総まつり競演2020実行委員会	11月20日		
千葉おもてなしひな祭り実行委員会	11月25日		
ちばブランド銘菓創造委員会	12月 4日		
大道芸フェスティバル in ちば実行委員会	12月18日		
千葉県ふっこう割説明会	12月23日		
幕張有料ガイド実行委員会	1月17日	2月12日	
千の葉の芸術祭実行委員会	1月20日		
千葉城さくら祭り実行委員会	2月 4日		

【3】事業項目及び実施事業

[1] 観光プロモーション事業

1. 観光資源開発

(1) 周遊ルートの企画広報

夏の駅からハイキング

「古代のロマンを秘めた大賀ハスと悠久の時を刻む千葉の街と海辺を散策」

6月15日（土）～23日（日） 千葉駅～千葉みなと駅

1951年に大賀一郎博士によって開花した大賀ハスの純粋な種の系統保存を行い薄紅色の優美な蓮花が観賞できる千葉公園の蓮華亭から、千葉開府893年の歴史と文化を伝える街並みをはじめ千葉みなとの新観光名所を散策するハイキングをJR千葉支社と開催した結果、首都圏他から1,411名の参加があった。

(2) 着地型旅行商品の企画と受入支援

① 春の日帰り観光バスツアー

「日本初の写実絵画美術館～春爛漫シバザクラ&いちご狩りと海鮮市場メシを満喫」

4月18日（木）、19日（金）

市内観光資源の複合的活用により来訪者誘致するため、当協会と京成バスシステムの旅行企画により日帰り観光バスツアーを開催。昭和の森に面する写真を超える驚

きを感じる写実絵画の鑑賞が楽しめるホキ美術館をはじめ、地方卸売市場で買い物や昼食、富田さとにわ耕園でシバザクラ観賞と、ちはる農園でいちご狩りの収穫体験を企画した結果、52名の参加となった。

②秋の日帰り観光バスツアー

「よしもとお笑い劇場の爆笑ライブ～秋桜&落花生 or 枝豆の収穫と市場メシ満喫」

9月26日(木)、10月11日(金)、16日(水)、17日(木)、18日(金)

よしもと幕張イオンモール劇場でのライブ観賞をはじめ見浜園にて日本庭園見学と呈茶サービス、加曽利房の駅で買い物と富田で秋桜の観賞に落花生又は枝豆の収穫体験を企画したところ、165名の参加となった。

(3)千葉ならではの食文化等を活かした地産地消グルメ

食を通じて地域活性化や飲食店の経営をテーマに千葉美食研究会を定期的に開催。

そこで、房総半島のゲートウェイに位置する千葉市で、房総の味覚を効果的に、かつその由来、価値を含めて提供できる役割を果たしていくため、千葉市の特性と房総の魅力を活かした美食のまち千葉を目指して、市内の飲食店が独自の個性とアイデアを凝らして生み出した、千葉市でなければ食べられない郷土料理創作プロジェクト「千葉さんが」を10月から33店舗で開始した。

(4)MICE来訪者へ観光サービスの提供

①日本地球惑星科学連合 2019年大会への協力

5月26日(日)・27日(月)

外国語観光ボランティアガイドにより大会会場におもてなしデスクを設置し、市内観光案内を行った。さらに、外国人参加者向けに現地受付オプションツアーを企画したところ4名の参加があった。

②Foodex Japan 2020への協力

3月11日(水) ※展示会中止

ちば国際コンベンションビューローと連携し、外国語観光ボランティアガイドにより、出展者・バイヤー等を対象に中心市街地の夜のダウンタウンを散策するHasuike Night Tourを準備していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

(5)地域間連携によるグリーンツーリズムの推進(市補助事業)

①WEBサイト等によるグリーンエリアの情報発信

千葉市若葉区・緑区及び市原市のグリーンエリアWEBサイト「Wakami-hara」にて、農業や観光事業に携わる方々の人柄や思いを紹介するインタビュー記事をはじめ、20代から30代の首都圏在住の女性と同エリアを旅するプロモーション動画を作成・配信した。さらに、Wakami-haraの公式アカウントを取得しツイッターで情報発信を開始すると共に、同エリアでの体験プログラム(20件)の内容や予約案内を掲載した。また、同サイトと連動して夏休み前の7月末に観光パンフレット4.5千部を発行し、首都圏在住の女性をターゲットに都内大型書店にてサンプリングを実施した。

②グリーンエリアのモニターツアー

11月16日（日）～17日〔18名〕千葉・市原 一泊2日体験ツアー

12月15日（日）〔17名〕千葉・市原 鉄道で巡る日帰りツアー

千葉市と市原市を巡り収穫体験やコンポート作りなどを楽しむ一泊2日のコースと公共交通機関を利用して東京から日帰りで旅行できる日帰りコースを設定し、メインターゲットを対象にメディア等を活用し参加者を募集。9月の台風の影響により当初予定していた施設の被害もあり日程及び立寄り先を変更しての開催となったが、参加者それぞれがSNSを活用した情報発信を行うなどの成果を得ることができた。

③千葉市の観光を考える委員会による観光都市マネジメント実現に向けた提言

6月19日～12月5日 委員会〔5回〕、ワーキング委員会〔6回〕

グリーンツーリズムを継続的に推進するには千葉市全体の観光振興の方向性を確立し、市域内の連携や役割分担に応じた事業者の取組によりグリーンエリアの優位性を高めていく必要があるとの検証結果から、千葉市の観光を考える委員会を設置し、民間事業者が主体となり千葉市が目指す観光都市の姿を構想し、現状の課題や機会、具体的な戦略の方向性などの議論を通じて、新たな観光都市マネジメントの実現に向けた提言を取り纏めた。本提言を次年度からの当協会基本活動方針とすると共に、今後の観光政策及び推進体制の策定における重要要素として千葉市に提言を行った。

2. 観光情報発信

(1)千葉市観光WEBサイトやSNSによる情報発信

季節に応じた最新イベント・グルメ情報をはじめ、観光コンテンツ別に桜スポットの開花速報やいちご狩り、ダイヤモンド富士鑑賞など最新情報を継続的に更新し特集ページで発信すると共に、セキュリティ対策及びアクセス増加を図るためSSL導入とスマホの閲覧性を高める改良を行った結果、昨年を上回る1,397,343件のアクセスがあった。さらに、WEBサイト内の全ての情報がサイトを開くだけで世界中の言語（100以上の言語対応）で閲覧できる自動翻訳機能を導入した。

(2)千葉とっておき2020の発行

創刊22号となる千葉とっておき観光ガイドブックは、巻頭特集に「2020年におすすめしたい！千葉市のまちの魅力」の紹介をはじめ、観る・遊ぶ・食べるカテゴリごとに千葉の魅力を詰め込んだスポット447選を収録し10万部発行。3月16日から観光情報センター、区役所、宿泊施設他で配布。

(3)観光ガイドマップの発行

千葉市に訪れる来訪者や宿泊者に観光・レジャーを楽しんでもらうため、千葉都心・幕張新都心・蘇我副都心エリアをはじめ豊かな自然のなかで体験等ができる各エリア魅力の情報と観光スポットの位置やアクセスが分かる観光ガイドマップ6.5万部を1月22日に発行した。

3. 観光広報及び観光客誘致

〔1〕 観光広報活動

(1)千葉市5ビーチ・プロモーション（市補助事業）

千葉市の海辺の魅力を発信する観光PR大使を選定し、大使が取材した海辺エリアの写真や記事などをSNS（インスタグラム・ツイッター）により373回投稿したほか、市内外のイベント・観光キャンペーンなどに35回出演した。

[令和元年度千葉シティ5BEACH観光PR大使]

島田優花（幕張の浜）、鈴木海那（検見川の浜）、岩村雪香（いなげの浜）

松本ちはや（千葉みなど）、山口真優（蘇我）

(2)第90回都市対抗野球大会郷土応援

JFE東日本が千葉市代表として23回目の東京ドーム出場を果たし、初優勝を飾った。当協会は、親子三代千葉おどりと総州太鼓など郷土芸能の披露をはじめ、観光PR大使と応援を行った。

(対戦成績)	2回戦	7月14日(日)	対大阪ガス(大阪市)	3:2
	3回戦	7月20日(土)	対明治安田生命(東京都)	6:2
	4回戦	7月22日(月)	対パナソニック(門真市)	3:1
	準決勝戦	7月24日(水)	対東芝(川崎市)	5:4
	決勝戦	7月25日(木)	対トヨタ自動車(豊田市)	6:4

(3)シティ・プロモーション活動

①千葉シティ観光特使によるプロモーション活動

千葉市の魅力を広く市内外に紹介し観光振興及び都市イメージアップを図るため、よしもと幕張イオンモール劇場芸人「幕張セブンスターズ」の一員として千葉市出身で市内イベント・テレビ等に出演している、タケト(中村岳人)を千葉シティ観光特使に任命。地元メディアやSNSにて、千葉市の魅力紹介や観光情報のプロモーション活動を行った。

②千葉市フェアにて観光PR

4月18日(木)～21日(日)

市民に市内農産物・土産品、観光スポットを知ってもらうため、イオンスタイル鎌取店で開催された千葉市フェアに当協会会員が出店し観光PR等を行った。

③ちば産直市にて早春の観光キャンペーン

2月7日(金)

JR上野駅で開催された「ちば産直市」に出展し、特設ステージで観光PR大使より千葉市の海辺・里山・都心エリアのプロモーションを行うと共に、PRブースで春のイベント紹介や観光パンフレットの配布、施設招待券等のプレゼントを行った。

④千葉ベイエリア春のお出かけキャンペーン

3月1日（日）～5月31日（日）

春の行楽シーズンに千葉県内の道の駅に訪れる来訪者に、千葉市の春の見所と千葉ベイエリアの観光施設の紹介及び来訪特典を提供する観光キャンペーンを行った。

〔2〕観光客誘致活動

(1)第18回千葉城さくら祭り【共催】

3月26日（火）～4月5日（金） 亥鼻公園

千葉商工会議所、千葉市中央地区商店街協議会、当協会にて実行委員会を組織し、さくら祭り会場内に新たに千葉市ミュージアム体験ワークショップとパラスポーツ体験コーナーを開設。さらに、千葉城のライトアップと夜桜の競艶をはじめ、地元物産品・農産物やご当地グルメの販売、地元伝統芸能等のライブ、中心市街地協力店でさくら祭り企画メニューを提供した結果、来場者は104,725人となった。また、千葉開府900年に向け千葉城さくら植樹基金の募金活動等を行い、千葉市と連携し亥鼻公園のサクサ再生事業を実施した。

(2)幕張ビーチ花火フェスタ 2019（第41回千葉市民花火大会）【共催】

8月3日（土） 幕張海浜公園

千葉市、千葉商工会議所、幕張メッセ、ベイエフエム、幕張新都心ホテル協議会、当協会にて実行委員会を組織し、幕張の浜を活用した本大会ならではの海上花火やLOVEメッセージ花火を交えた国内最大級2万3千発の花火打上げを行った結果、30万人（会場内9万人）の観覧者が訪れた。

（花火打上げ数）23,000発

10号玉（35発）8号玉（42発）7号玉（42発）5号玉（118発）4号玉（2,905発）

3号玉（2,463発）2.5号玉（5,361発）2号玉（7,558発）小型煙火（4,476発）

(3)千葉港まつり【協力】

8月16日（金）～22日（木）

港まつり実行委員会に参加するとともに、千葉神社みこし渡御の音頭行進の支援を行った。

(4)第44回千葉の親子三代夏祭り【協力】

8月17日（土）、18日（日） 中央公園周辺

千葉市を美しくする会が主催となり皆川専務はまつり部会員として参加した。祭りの参加者は185団体5,004人、前夜祭3万人、本祭り33万人の人出であった。

(5)千葉ロッテマリーンズ応援会【主催】

9月19日（木） ZOZOマリンスタジアム

千葉市をホームタウンとする千葉ロッテマリーンズに声援を送るため、当協会の役職員49名により応援会を実施した。

(6)BAY SIDE JAZZ 2019 CHIBA 【共催】

ベイサイドジャズ千葉実行委員会が主催となり、当協会は皆川専務が実行委員として参加。市内ライブハウス、レストラン等を会場に、ジャズ演奏を繰り広げるライブを開催した結果、延べ11, 217人の入場者があった。

(7)千葉湊大漁まつり（第43回千葉市民産業まつり）【共催】

11月4日（月・祝） 千葉ポートパーク

千葉市民産業まつり実行委員会が主催となり、当協会は飯沼会長が実行委員会副会長として参加。千葉ポートパーク及び千葉みなとエリアを会場に、市内・県内の豊かな食・特産品等の展示、実演、即売会をはじめステージイベント他を開催し、約8万人の人出があった。

(8)ジェフユナイテッド千葉応援会【主催】

11月10日（日） フクダ電子アリーナ

千葉市をホームタウンとするジェフユナイテッド千葉に声援を送るため、当協会役員18名により応援会を実施した。

(9)幕張新都心イルミネーション2019/2020【共催】

11月1日（金）～1月26日（日）

幕張新都心イルミネーション実行委員会に当協会は皆川専務が実行委員として参加し、海浜幕張駅前広場で初めてのイルミネーションを実施。首都圏エリア最大規模のミラーボールイルミネーションを設置し、賑わいづくりイベントを開催した。

(10)第29回千葉都心イルミネーション【共催】

11月30日（土）～3月22日（日）

千葉都心イルミネーション実行委員会に当協会は皆川専務が実行委員として参加し、千葉駅前から中央公園プロムナードならびに中央公園周辺にかけて千葉都心イルミネーション・ルミラージュちばを開催した。

(11)その他（後援、協賛事業）

千葉県民芸術祭 写真千葉県展、千葉県民芸術祭 千葉県俳句大会、千葉市商業祭、寒川の御浜下りフォトコンテスト、サマールクロスカントリーin 千葉、稲毛夕焼けマラソン、千葉市科学フェスタ、エコメッセ in ちば、落語国際大会 IN 千葉、ヨーソロー1000人プロジェクト「1000人ヨーソロー」、ゆうきの夏まつり、千葉県菊花大会、アロハフェスティバル in CHIBA、轟け！ちば和太鼓フェスタ、ちーバル～頬バル！欲バル！食べ歩きグルメ祭り～、千葉県フラワーフェスティバル、千葉市菊花展、楽市バザール&のみの市、東京湾アクアスロン稲毛海浜公園大会、千葉クロスカントリー、千葉市民芸術祭参加 市民春の俳句大会、千葉昭和の森さとやまマラソン、ランドスケープ・フォーラム in 千葉、ヨーソロー1000人プロジェクト「千葉から千の響き～和太鼓1000人打ち」、稲毛花マラソン、ニチレイレディス他

4. 受入体制の整備

(1)インバウンド需要の取り込みに向けた受入環境の整備

外国語観光ボランティアガイドの育成及び活動機会の創出（市補助事業）

国内外から千葉市を訪れる人々に、街の特色をはじめ集積された文化・景観やおすすめスポットの紹介、交通機関の利用案内などを英語で行う観光ボランティアガイドを育成。千葉市の観光・歴史を知る講座から外国人向け観光ガイドのポイント・マナー研修をはじめ、ガイドコースの実習を修了した3期生39名を「ちばシティガイド」に認定。平成29年度から延べ95名の外国語観光ボランティアガイドを登録した。また、1・2期生により千葉大学グローバル授業の参加者向けガイドツアー、ホテル宿泊者向けガイドツアーをはじめ、ちばシティガイド登録者により千の葉の芸術祭における観光ボランティアガイド活動の準備を行った。

(2)観光ボランティア「ちばシティガイド」による魅力再発見ガイドツアー

観光ボランティアガイドに登録する43名の「ちばシティガイド」が案内する「まち歩き観光ガイドツアー」に、市内外から28件397名の参加があった。また、中央区・花見川区役所と連携し各区の在住者、在勤者等を対象に、地元の魅力を再発見するウォーキングを開催し、延べ76名の参加があった。

(3)レッドブル・エアーレースにあわせて観光案内所を開設

9月7日（土）、8日（日）のレッドブル・エアーレースを訪れる国内外からの来訪者をおもてなしするため、海浜幕張駅南口前に臨時観光案内所を開設。観光案内をはじめ市観光ガイドマップや各種パンフレット等を配布した。

(4)トイレクリーン「C+1」セミナーの開催

2月13日（木）千葉県観光企画課との共催により、千葉美食研究会に併せて飲食店・商業施設等公共トイレの管理者講座並びに汚れの種類と落とし方の研修を行った。

(5)観光関係団体との連絡調整

①大都市観光協会連絡協議会の総会ならびに事務主管者会議に出席し、政令指定都市の各団体が行き組む観光振興事業などについて意見交換を行った。

7月4日、11月7日・8日（浜松市）

②千葉ベイエリア観光連盟の事務局として、会議及び事業活動の連絡調整を行った。

（総会）6月21日（理事会）10月24日（担当者会議）5月30日、1月17日

(6)観光関係功労者の表彰

①6月12日の第8回定時総会において、当協会の運営に寄与された役員1名に感謝状、会員8名に会員表彰を授与した。

（感謝状）山崎哲保

（会員表彰）(有)清本園、(株)イウォレ京成、(株)ブライダルプロデュース、(株)萌翔社
(株)トヨタレンタリース千葉、(株)あんしん保険センター
(株)ケースネットワーク、(有)もてなしや

・定時総会に併せて、公益社団法人日本観光振興協会副理事長の久保田譲氏による特別講演「コンセプトある観光地域づくりを」を開催した。

②10月11日にオリエンタルホテル東京ベイで開催された第9回千葉県観光物産大会にて、山崎哲保氏が県観光功労者表彰を授賞した。

5. 観光地の美化清掃

2019観光地美化キャンペーン

11月23日（土・祝）に、千葉を代表する海浜リゾートに位置する検見川の浜の清掃活動を、会員ならびに地元自治会と市民ボランティアの協力により準備をしていたが、当日雨天のため中止となった。

[2] 観光情報センターの運営事業

(1)国内外からの来訪者受入環境を整備するため、両センターに公衆無線LAN環境の整備を行うと共に多言語案内用タブレット端末を設置した。さらに、市内の飲食店・小売店等の店舗及び宿泊施設の情報を提供する千葉おもてなしWi-Fiに参画した。

(2)観光情報センターの存在を来訪者に分かりやすくするため、両センターの入口付近に新たな案内看板を設置した。

(3)観光情報センターの利用状況（※昨年実績）

案内項目		千葉市観光情報センター 〈JR千葉駅〉	千葉市幕張観光情報センター 〈JR海浜幕張駅〉
公共施設案内		17,214件 (17,001)	5,973件 (6,238)
レジャー案内 (ホテル・旅館・観光施設)		12,013件 (10,560)	3,599件 (4,179)
イベント案内		3,833件 (3,663)	3,469件 (3,444)
ビジネス・生活案内 (民間施設・ショッピング・飲食)		7,891件 (6,739)	6,783件 (8,569)
交通機関案内		8,617件 (6,382)	2,007件 (2,310)
市内案内計		49,568件 (44,345)	21,831件 (24,740)
市外案内計		5,517件(4,678)	2,341件(2,626)
総計		55,085件(49,023)	24,172件(27,366)
内外国人案内		3,873件(3,156)	2,286件(3,093)

[3] 千葉の農林水産物等を活用した飲食及び物品販売事業

(1)「千葉つくたベキッチン」(ZOZOマリンスタジアム)の運営

2019シーズンは地産地消商品の開発・販売を通じ千葉の豊富な食材と食文化の魅力をもPRするため、千葉市農政課が取り組む「つくたべプロジェクト」と連携して店舗名を「千葉つくたベキッチン」に変更すると共に、千葉市産グルメ球場限定商品の販売と市内の観光レジャーに関する情報提供を行った。店舗管理については、専門性・クオリティの高い人員体制のもと店舗運営と衛生管理を実施した。

(2)観光イベント会場で地場産品の宣伝・販売

千葉市の観光、農産物・加工品等を地元住民に広く紹介し「千葉市らしさ」「千葉市の魅力」をPRする千葉市フェアをはじめ千葉城さくら祭り等イベント会場で、千葉市の特産品・土産品等の紹介と販売を行った。

[4] 管理業務

(1)会員増強活動

令和元年度は当初736会員のもと、当年度事業計画に基づき千葉市と連携を図り、観光関連事業者のみならず多様な関係者を巻き込み、地域一体となって観光消費の拡大ならびに交流人口の増加・都市イメージの向上等に結び付けていけるよう会員増強活動を展開した結果、新規に38会員の入会をいただいたが廃業などにより26会員の退会があり、令和元年度の会員数は748会員となった。

(2)観光産業の高度化を支援する観光専門団体としての機能強化

千葉市を取り巻く観光需要が大きく変化しているなかで、今後、観光の専門団体として千葉市の魅力創出と情報発信及び受入体制の整備を担う事業を実行できる組織と財務基盤の強化に向け、次年度以降の千葉市と観光協会の役割及び体制の見直しについて協議を行った。

(3)公益法人認定法に基づく管理業務

公益目的事業を遂行するための組織改善をはじめ、財務について公益法人会計基準による区分経理、公益法人認定法に基づく書類の作成と情報公開を行った。